

令和5年8月4日  
情報基盤部

## 気象庁及び気象研究所のメール関連機器に対する 不正通信の発生について

気象庁及び気象研究所のメール関連機器に対する不正通信により、気象庁が受信したメールデータの一部が外部に流出した可能性があります。関係者の皆様にご迷惑をおかけすることになり、お詫び申し上げます。

気象庁及び気象研究所がそれぞれ使用しているメール関連機器に対して、メーカーにおいてこれまで確認できていなかったシステムの脆弱性を狙った不正通信があったことが判明しました。これは、国外においても確認されているメール関連機器の脆弱性を原因とするものと考えられます。

気象庁及び気象研究所は、当該機器をセキュリティ対策を強化した機器に全て交換するなどの対策を講じてきたところですが、令和4年6月上旬から令和5年5月下旬までに気象庁（気象研究所を含む全国の気象官署）にお送りいただいたメールのうち、一部のデータが外部に流出した可能性があります。

お送りいただいたメールデータが外部に流出した可能性があるとは判明した方には、順次個別にご通知いたします。関係者の皆様におかれましては、ご迷惑をおかけすることとなり、お詫び申し上げます。

ご通知に際し、個人情報をお伺いしたり、ウェブサイト（URL）へのアクセスをお願いしたりすることはありません。気象庁からの連絡を装ったメールや電話等にご注意ください。

本件に関して、ご心配な点やご質問がございましたら以下のお問合せ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

### お問合せ先

情報基盤部 情報政策課

電話 03-6758-3900（内線 3152・3154）

（平日午前9時から午後5時まで受付）

メールアドレス soudan\_cs(a)met.kishou.go.jp

（(a)を@に変換してください）

このメールアドレスは受信専用です。このアドレスからご連絡することはありません。

メールにはいかなるファイルも添付しないでください。